

事業名	未来のICT人材育成支援事業費			担当課	部局	企画振興部
					課・局・室	情報政策課
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	<a href="mailto:ioho@pref.nagano.lg.jp">ioho@pref.nagano.lg.jp</a>
	施策の総合的展開	5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実 4 地域情報化の推進			実施期間	H27 ~ H32
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	4-3 信州創生を担う人材の確保・育成				
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 イ 地域資源を活用した自主的な経済構造の構築 (イ) サービス産業の振興				
		3-(2) 経済の自立的発展を支える担い手の確保 イ 県内産業が必要とする人材の確保・育成				

1 事業の概要

目指す姿	未来を担う子ども・若者にICT利活用の素養と感性を身に付ける機会を提供し、地域ICT産業の活性化と県内のICT人材育成を促進し、地域産業を支える担い手の確保を目指す。
------	---

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業におけるICT人材の不足 (リーマンショック以降増加傾向) ICT人材不足と感じている企業の割合: 87.4% (出典: 独立行政法人情報通信処理推進機構「IT人材白書2015」)</li> <li>■ 長野県ICT活用戦略を策定 (H27.3) し、ICT人材育成を取組の柱に位置付け ・ 県内外の小中学生を対象に、長野県の自然のなかでICTを利活用したモノづくりの楽しさを体験できる場を県域全体で提供することで、これまでにはない新たな価値創造と未来を担うクリエイティブな人材を発掘・育成</li> <li>■ 世界最先端IT国家創造宣言 (H27.6閣議決定) ・ 初等・中等教育段階でのプログラミングなどの教育の充実 ・ IT習得の意識高揚の観点から、プログラミングコンテストなどの競技会を推進していくことも重要であり、関係省庁の後援や大臣賞の付与等を行う。</li> </ul>
------------	--

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) 【左記の説明、根拠法令等】 地域社会や産業で必要とされているICT人材の不足を解決するため、県が主導して、若年層を対象としたICT利活用の素養と感性を身に付ける機会を拡大し、ICT人材育成を推進する必要がある。 県民との協働による実施: 今後実施予定
----------	---

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)				
	若年者向けアプリケーションコンテストの実施及び県内の子ども・若者向けICT人材育成事業に対する補助により、未来の長野県を担うICT人材の育成を支援する。				
	② 事業内容 (単位: 千円)				
	項目	実施方法	H28実施内容	H27 (当初)	H28 (要求) / (予算案)
信州未来アプリコンテスト開催費	直接	・ 学生及び若手ICTエンジニアを対象に、スマートフォン等で動作する自作のアプリケーションやそのアイデアを競うコンテストを開催		1,002	
ICT人材育成事業補助金	補助金	・ 若年層 (主として初等・中等教育段階) を対象としたICT人材育成事業 (サマーキャンプ等) に対して補助 ・ 補助先 (大学・学校法人・民間事業者等)		4,800	
合計			0	5,802 / 0	

事業	区分 (単位: 千円)	26年度	27年度	28要求	28予算案	成果目標の達成状況					
						項目	H26末	H27末 (見込)	H28		H29目標
予算額	前年度繰越										
	当初予算			5,802				目標	成果	達成状況	
	補正予算										
	合計 (A)	0	0	5,802	0						
コスト	一般財源			5,802							
	県債			0							
	国庫支出金			0							
	その他	0	0	0	0						
決算額 (B)											
概算職員数 (人)				1.00							
概算人件費				8,258	0						
概算事業費 (B(A)+C)				14,060	0						

指摘事項等への対応	(指摘事項等)	(対応)
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

要求からの主な変更点	
------------	--